Ⅰ-4 日本人の旅行に対する意識

1 行ってみたい旅行
行ってみたい旅行先(国内)は北海道、沖縄県、京都府
行ってみたい旅行先(海外)は
ハワイ、アメリカ合衆国本土、イタリア
行ってみたい旅行タイプは温泉、自然、グルメ

ここでは、日本人の行ってみたい旅行について詳しくみていく。なお、ここで分析に用いたデータは、全て「**JTBF旅行意識調査**」に基づいている。

(1)行ってみたい旅行先(国内旅行・海外旅行)

「今後1～2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行先(国、都市、観光スポット)」について、具体的な地名を国内・海外それぞれ行きたい順に3つまで自由に回答してもらった(表Ⅰ-4-1)。

ただし、最も行きたい地域を3ポイント、2番目に行きたい地域を2ポイント、3番目に行きたい地域を1ポイントとして、その合計値をランキングにしている。

その結果、国内では北海道が最も高く、初回調査時(1988年)より連続して首位を維持している。次いで沖縄県、京都府、大阪府、東京都の順となり、沖縄県以降については、都市部が続いた。

2019年の結果と比較すると、上位10位までの都道府県の顔ぶれに大きな変更はなかったが、大阪府、九州地方、石川県、千葉県が順位を上げ、東京都、長崎県、鹿児島県が順位を下げた。また、上位30位の中で最も順位を上げたのは、群馬県であり、具体的な地名として草津温泉や伊香保温泉、尾瀬が挙げられた。

海外では、ハワイが最も高く、続いてアメリカ合衆国本土、イタリアとなり、順位の変動はあるものの7位までは昨年度と同じ地域が並んだ。

表Ⅰ-4-1　行ってみたい旅行先

国内旅行

順位	2022年			2019年		
	地域名	合計ポイント	構成比(%)	地域名	合計ポイント	構成比(%)
1位	北海道	1,697	56.5	北海道	1,793	57.8
2位	沖縄県	1,365	45.0	沖縄県	1,335	43.4
3位	京都府	527	19.8	京都府	453	16.2
4位	大阪府	344	14.2	東京都	332	11.9
5位	東京都	289	11.8	大阪府	312	11.7
6位	九州地方	229	9.0	長崎県	259	9.6
7位	石川県	225	9.4	九州地方	240	9.8
8位	長崎県	195	7.6	石川県	240	8.3
9位	千葉県	193	6.8	鹿児島県	215	7.5
10位	鹿児島県	182	6.8	千葉県	184	6.1
11位	福岡県	161	6.7	静岡県	173	5.4
12位	四国地方	140	6.1	東北地方	170	6.2
13位	東北地方	136	5.4	福岡県	147	4.6
14位	神奈川県	134	5.3	四国地方	141	5.7
15位	長野県	130	5.3	三重県	140	5.1
15位	静岡県	130	5.4	広島県	133	4.9
17位	大分県	111	4.1	神奈川県	118	4.1
18位	青森県	110	4.2	長野県	111	3.8
19位	三重県	103	3.9	島根県	111	3.9
20位	広島県	91	3.8	大分県	86	3.0
21位	和歌山県	85	3.4	富山県	86	2.5
22位	群馬県	82	2.8	和歌山県	85	2.9
23位	島根県	78	2.8	青森県	84	3.0
24位	兵庫県	74	3.6	奈良県	81	3.0
25位	富山県	69	2.9	福島県	75	3.8
26位	高知県	62	2.8	兵庫県	71	2.7
27位	宮城県	58	2.7	宮城県	66	2.7
28位	奈良県	53	2.3	山梨県	64	1.3
29位	栃木県	52	2.0	群馬県	61	2.0
30位	山形県	48	1.8	岐阜県	59	1.8

(注)構成比は、順位は問わずに行ってみたい旅行先として回答された割合

海外旅行

順位	2022年			2019年		
	地域名	合計ポイント	構成比(%)	地域名	合計ポイント	構成比(%)
1位	ハワイ	1,228	46.2	ハワイ	1,247	43.6
2位	アメリカ合衆国本土	529	23.9	イタリア	536	22.2
3位	イタリア	404	19.1	アメリカ合衆国本土	458	19.1
4位	オーストラリア	343	17.3	フランス	338	16.0
5位	フランス	332	16.7	オーストラリア	332	15.8
6位	韓国	329	15.2	台湾	313	13.0
7位	台湾	278	12.3	韓国	244	10.3
8位	グアム	265	12.0	スペイン	243	10.2
9位	カナダ	217	10.1	グアム	240	10.4
10位	スイス	198	8.4	カナダ	206	8.4
11位	英国	183	9.4	シンガポール	204	8.9
12位	スペイン	181	8.3	スイス	175	7.4
13位	タイ	142	6.6	英国	166	7.6
14位	シンガポール	130	6.6	ドイツ	132	5.6
15位	ドイツ	117	6.0	タイ	120	5.9
16位	ベトナム	93	4.5	バリ	110	4.9
17位	エジプト	76	3.3	ベトナム	106	4.5
18位	フィンランド	71	3.3	ヨーロッパ	104	4.0
19位	ニュージーランド	70	3.3	ニュージーランド	81	3.5
20位	ヨーロッパ	68	3.0	中国	67	3.0
21位	バリ	57	3.2	フィンランド	61	2.5
22位	中国	49	2.4	香港	56	2.6
23位	ペルー	45	2.0	トルコ	53	2.4
24位	トルコ	39	1.9	ギリシャ	49	2.2
25位	モルディブ	37	1.7	マレーシア	45	2.2
26位	オランダ	36	1.9	オーストリア	45	1.7
27位	ノルウェー	28	1.4	エジプト	41	1.5
28位	オーストリア	27	1.4	インド	40	1.8
29位	スウェーデン	24	1.1	ロシア	38	1.8
30位	アラブ首長国連邦/サイパン島/ギリシャ	21	1.1	オランダ	36	1.7

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(2)行ってみたい旅行タイプ

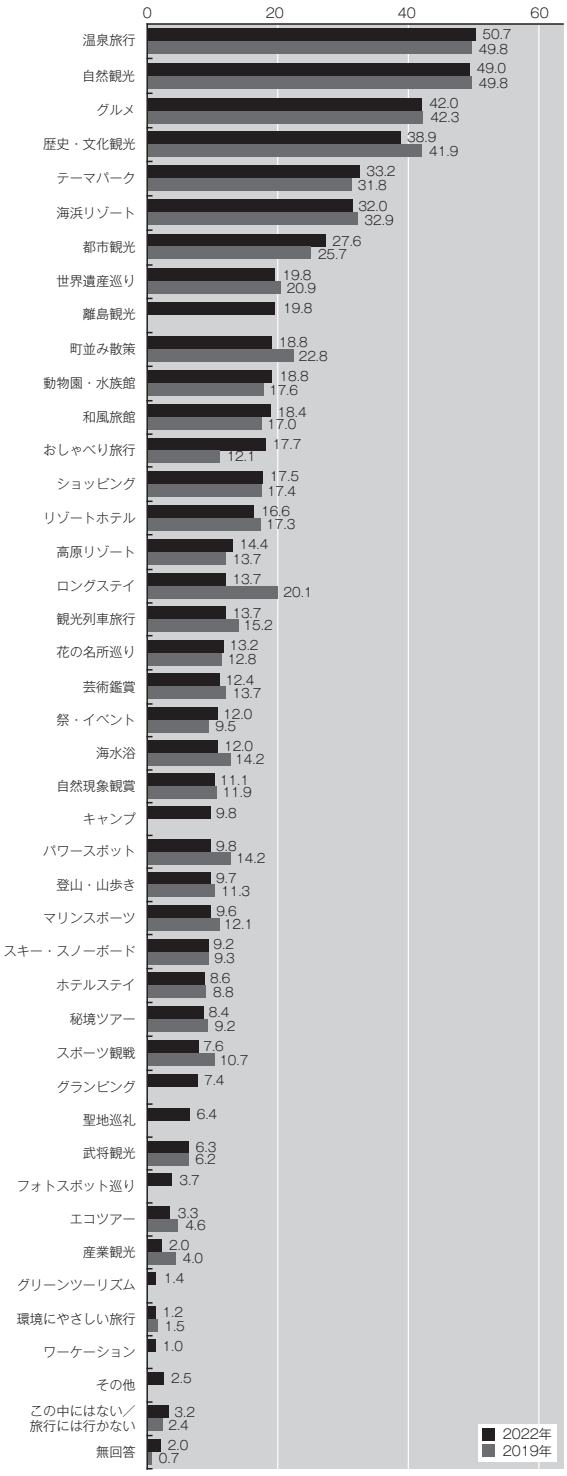
「今後1～2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行タイプ」として当てはまるものを選択肢一覧表(表I-4-2)から全て選んでもらった結果、行ってみたい旅行タイプ(複数回答)は、「温泉旅行」(50.7%)、「自然観光」(49.0%)、「グルメ」(42.0%)、「歴史・文化観光」(38.9%)の順となった(図I-4-1)。

また、2019年から順位を上げ、かつ、選択率が増加したのは、「和風旅館」「おしゃべり旅行」「高原リゾート」などであった。

表Ⅰ-4-2　行ってみたい旅行タイプ　選択肢一覧

	旅行タイプ名	内　　容
1	自然観光	自然や景勝地を見てまわる観光旅行
2	歴史・文化観光	歴史や文化的な名所を見てまわる観光旅行
3	海浜リゾート	海辺でゆったり過ごす旅行
4	高原リゾート	高原でゆったり過ごす旅行
5	都市観光	街や都市で楽しむ旅行
6	温泉旅行	温泉を楽しむ旅行
7	祭・イベント	祭やイベントを楽しむ旅行
8	テーマパーク	テーマパークや遊園地で楽しむ旅行
9	動物園・水族館	動物園や水族館で楽しむ旅行
10	グルメ	おいしいものを食べる旅行
11	スキー・スノーボード	スキーを楽しむ旅行
12	マリンスポーツ	マリンスポーツを楽しむ旅行
13	登山・山歩き	登山や山歩きを楽しむ旅行
14	キャンプ	テント等を用いて屋外で寝泊まりする旅行(野営等を含む)
15	グランピング	あらかじめキャンプ用品や食材・食事が用意されている豪華で快適な施設で、キャンプの雰囲気を味わう旅行
16	海水浴	海水浴を楽しむ旅行
17	ショッピング	ショッピングを楽しむ旅行
18	芸術鑑賞	演劇、音楽、展覧会等を楽しむ旅行
19	スポーツ観戦	スポーツ観戦を楽しむ旅行
20	花の名所巡り	桜やハーブなどの花の名所を訪ねる旅行
21	自然現象観賞	珍しい自然現象を見に行く旅行
22	秘境ツアー	秘境を訪ねる旅行
23	町並み散策	美しい町並みを楽しむ旅行
24	リゾートホテル	リゾートホテルに泊まる旅行
25	和風旅館	落ち着いた和風旅館に泊まる旅行
26	おしゃべり旅行	仲間や家族と楽しく過ごす旅行(見るもの、遊ぶものにはこだわらない)
27	ロングステイ	ロングステイを楽しむ旅行
28	世界遺産巡り	世界遺産を巡る旅行
29	パワースポット	神秘的な力・エネルギーの宿る場所を訪れる旅行
30	ホテルステイ	ホテルの旅館内での滞在そのものを主目的とした旅行
31	環境にやさしい旅行	旅行中に排出したCO_2を減らすための料金負担など、環境に配慮した旅行
32	エコツアー	自然を楽しみながら、自然や文化、環境などに対する理解を深める旅行
33	フォトスポット巡り	SNSへの投稿を主な目的として写真スポットを巡る旅行
34	武将観光	戦国武将にまつわる名所・旧跡を訪れる旅行
35	聖地巡礼	アニメ、マンガなどに関連する場所、映画などのロケ地、アイドルゆかりの場所への訪問を楽しむ旅行
36	観光列車旅行	内外装を凝らし、味覚を楽しみながら旅行が出来るなど、乗ること自体を目的にした列車旅行
37	グリーンツーリズム	農山漁村に滞在し農林漁業やふるさと体験を楽しむ旅行
38	離島観光	本土から離れた島を訪れ、島巡りや島での滞在を楽しむ旅行
39	産業観光	工場見学やものづくり現場の見学・体験を楽しむ旅行
40	ワーケーション	テレワークの活用などにより、リゾート地や地方等の普段の職場と異なる場所で仕事もしながら休暇取得等も行う旅行
41	その他	
42	この中にはない／旅行には行かない	

図Ⅰ-4-1　行ってみたい旅行タイプ(複数回答)　(単位：%)



(注)離島観光、キャンプ、グランピング、聖地巡礼、フォトスポット巡り、グリーンツーリズム、ワーケーション、その他は、2019年は設定なし

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-3では、性・年代別にランキング形式で示している。男性20～40代では、「グルメ」「テーマパーク」が、女性20～40代では「テーマパーク」「温泉旅行」が、それぞれ上位3位以内に挙がっている。50代以上は、男女ともに「温泉旅行」「自然観光」「歴史・文化観光」が上位3位を占めた。

また、2019年から順位を上げた「和風旅館」は、男性50～60代と女性70代で選択率が増加し、「おしゃべり旅行」は、特に女性の20代と40代で大きく順位を上げた。なお、「高原リゾート」は、性年代別では10位以内には入らなかったが、女性30代で比較的選択率が高かった。

2019年には調査項目になかった「離島観光」については、全ての年代の男性で上位10位内に挙げられ、女性では60～70代と比較的高い年代で上位となった。

表Ⅰ-4-3　性・年代別　行ってみたい旅行タイプ（複数回答）

（単位：%）

男性20代

		2022年	2019年
1位	グルメ	39.5	37.3　（3位）
2位	テーマパーク	36.0	35.3　（5位）
3位	自然観光	34.9	51.0　（1位）
	海浜リゾート	34.9	37.3　（3位）
5位	温泉旅行	33.7	39.2　（2位）
6位	都市観光	26.7	30.4　（6位）
7位	歴史・文化観光	25.6	30.4　（6位）
8位	スキー・スノーボード	18.6	15.7　（12位）
9位	リゾートホテル	15.1	15.7　（12位）
10位	マリンスポーツ	14.0	15.7　（12位）
	海水浴	14.0	14.7　（15位）
	スポーツ観戦	14.0	14.7　（15位）
	離島観光	14.0	調査なし

女性20代

		2022年	2019年
1位	テーマパーク	62.5	59.4　（2位）
2位	グルメ	50.0	60.4　（1位）
3位	温泉旅行	48.9	51.5　（3位）
	海浜リゾート	48.9	48.5　（4位）
5位	自然観光	39.8	37.6　（5位）
6位	都市観光	38.6	32.7　（6位）
7位	ショッピング	35.2	29.7　（9位）
8位	おしゃべり旅行	33.0	13.9　（18位）
9位	歴史・文化観光	26.1	32.7　（6位）
	動物園・水族館	26.1	30.7　（8位）

男性30代

		2022年	2019年
1位	グルメ	44.9	48.0　（2位）
2位	温泉旅行	39.8	49.6　（1位）
3位	テーマパーク	38.8	37.0　（4位）
4位	自然観光	37.8	37.0　（4位）
5位	海浜リゾート	35.7	41.7　（3位）
6位	歴史・文化観光	22.4	30.7　（6位）
7位	都市観光	17.3	25.2　（7位）
8位	離島観光	16.3	調査なし
	キャンプ	16.3	調査なし
10位	スキー・スノーボード	15.3	16.5　（11位）

女性30代

		2022年	2019年
1位	テーマパーク	68.0	60.8　（1位）
2位	温泉旅行	57.7	53.3　（4位）
3位	グルメ	55.7	54.2　（3位）
4位	海浜リゾート	45.4	48.3　（5位）
5位	自然観光	41.2	58.3　（2位）
6位	動物園・水族館	33.0	32.5　（7位）
7位	ショッピング	29.9	27.5　（12位）
8位	都市観光	28.9	31.7　（8位）
9位	歴史・文化観光	26.8	40.0　（6位）
	リゾートホテル	26.8	30.8　（9位）

男性40代

		2022年	2019年
1位	自然観光	46.6	48.0　（1位）
2位	グルメ	42.5	45.4　（2位）
3位	テーマパーク	39.7	36.2　（6位）
4位	温泉旅行	38.4	41.4　（3位）
5位	海浜リゾート	37.7	38.8　（5位）
6位	歴史・文化観光	34.9	39.5　（4位）
7位	都市観光	33.6	23.0　（7位）
8位	離島観光	22.6	調査なし
9位	海水浴	21.2	17.8　（11位）
10位	世界遺産巡り	18.5	18.4　（9位）

女性40代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	54.0	48.3　（4位）
2位	自然観光	50.8	49.0　（2位）
3位	テーマパーク	49.2	48.3　（4位）
4位	海浜リゾート	46.8	42.7　（6位）
5位	グルメ	46.0	55.2　（1位）
6位	歴史・文化観光	41.9	49.0　（2位）
7位	都市観光	36.3	35.7　（7位）
8位	動物園・水族館	26.6	25.9　（9位）
9位	ショッピング	24.2	24.5　（10位）
10位	おしゃべり旅行	22.6	16.8　（18位）

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表Ⅰ-4-3　性・年代別　行ってみたい旅行タイプ（複数回答）―つづき

（単位：%）

男性50代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	56.3	46.9　（2位）
2位	自然観光	53.2	50.8　（1位）
3位	歴史・文化観光	44.4	43.1　（3位）
4位	グルメ	39.7	36.9　（4位）
5位	海浜リゾート	36.5	30.8　（5位）
6位	都市観光	31.0	24.6　（6位）
7位	テーマパーク	25.4	23.1　（7位）
8位	和風旅館	22.2	13.8　（13位）
9位	離島観光	19.0	調査なし
	世界遺産巡り	19.0	16.2　（10位）
	リゾートホテル	19.0	12.3　（15位）

女性50代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	53.9	56.4　（1位）
2位	歴史・文化観光	53.0	50.5　（3位）
3位	自然観光	52.2	43.6　（4位）
	グルメ	52.2	52.5　（2位）
5位	テーマパーク	35.7	35.6　（5位）
6位	都市観光	32.2	28.7　（10位）
7位	海浜リゾート	30.4	33.7　（7位）
8位	町並み散策	27.0	31.7　（8位）
9位	ショッピング	25.2	27.7　（12位）
10位	おしゃべり旅行	23.5	19.8　（17位）

男性60代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	56.8	54.0　（2位）
2位	自然観光	55.1	55.6　（1位）
3位	歴史・文化観光	41.5	47.6　（3位）
4位	グルメ	34.7	36.5　（4位）
5位	世界遺産巡り	29.7	16.7　（9位）
6位	海浜リゾート	27.1	29.4　（5位）
7位	都市観光	25.4	21.4　（6位）
8位	離島観光	19.5	調査なし
9位	テーマパーク	18.6	12.7　（17位）
	和風旅館	17.8	15.9　（10位）

女性60代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	54.8	53.1　（2位）
2位	自然観光	54.0	55.5　（1位）
3位	歴史・文化観光	49.2	39.8　（3位）
4位	グルメ	38.7	32.0　（4位）
5位	世界遺産巡り	30.6	28.9　（5位）
6位	花の名所巡り	27.4	23.4　（8位）
7位	町並み散策	26.6	28.1　（6位）
8位	動物園・水族館	25.8	13.3　（20位）
9位	おしゃべり旅行	25.0	15.6　（16位）
10位	テーマパーク	24.2	18.0　（12位）
	離島観光	24.2	調査なし

男性70代

		2022年	2019年
1位	自然観光	58.5	57.7　（2位）
2位	温泉旅行	52.3	51.5　（3位）
3位	歴史・文化観光	40.8	60.8　（1位）
4位	グルメ	28.5	22.7　（6位）
5位	町並み散策	23.8	32.0　（4位）
	世界遺産巡り	23.8	17.5　（9位）
7位	都市観光	22.3	18.6　（8位）
8位	離島観光	20.0	調査なし
9位	観光列車旅行	18.5	19.6　（7位）
10位	海浜リゾート	16.9	13.4　（13位）

女性70代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	58.9	56.1　（2位）
2位	自然観光	54.6	59.8　（1位）
3位	歴史・文化観光	45.4	42.4　（4位）
4位	グルメ	38.3	26.5　（8位）
5位	花の名所巡り	34.8	43.2　（3位）
6位	町並み散策	27.7	32.6　（5位）
	離島観光	27.7	調査なし
8位	和風旅館	26.2	23.5　（9位）
	観光列車旅行	26.2	30.3　（6位）
10位	おしゃべり旅行	24.1	19.7　（11位）

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

(3) 旅行タイプ別の行ってみたい旅行先

ここでは、行ってみたいと回答した旅行タイプについて、それぞれの行ってみたい旅行先を国内・海外問わずに自由に回答してもらい、それらの回答を国内は都道府県別（または地方別）、海外は国別（または島別）に整理して集計した（表I-4-4）。

温泉旅行では、由布院や別府など著名な温泉地を有する「大分県」が最も多く、次いで草津や伊香保を有する「群馬県」となっている。

自然観光では、2019年と同じ地域・順位が5位までを占め、「北海道」が1位、次いで「沖縄県」となっている。

グルメでは、「北海道」が他を大きく引き離して1位となっている。また、2019年には5位以下であった「大阪府」が4位に浮上した。

歴史・文化観光では、「京都府」が3割弱を占め、2位（「イタリア」（8.2%））以下を大きく引き離している。

テーマパークでは、東京ディズニーリゾートが位置する「千葉県」が1位、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが位置する「大阪府」が2位となっている。3位以下は、2019年と同様、「東京都」「長崎県」「アメリカ合衆国本土」の順で続いている。

海浜リゾートでは、2019年同様、「ハワイ」「沖縄県」の人気が高く、両者で7割以上を占める。

都市観光では、「東京都」が最も多く、次いで「大阪府」「アメリカ合衆国本土」となっている。

世界遺産巡りについては、世界遺産の登録数が最も多い「イタリア」が1位、「エジプト」「スペイン」が続き、旅行先の上位は海外が占めている。

町並み散策は、2019年と変わらず、「京都府」が最も多く、次いで「イタリア」「石川県」となっている。

動物園・水族館では、2019年から上位2位が入れ替わり、旭山動物園が位置する「北海道」が最も多く、次いで沖縄美ら海水族館が位置する「沖縄県」となっている。

和風旅館では、「京都府」「石川県」といった古都、「神奈川県」「大分県」といった伝統的な温泉地が並んでいる。

おしゃべり旅行では、「沖縄県」や「北海道」、「静岡県」などに回答が分散した。

ショッピングでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「東京都」「韓国」の順となっている。

リゾートホテルは、海浜リゾートでも上位を占めた「沖縄県」「ハワイ」の人気が高い。次いで、2019年には5位以内に入っていなかった「長野県」が3位となっている。

高原リゾートでは、「長野県」が圧倒的シェアを占め1位となっている。具体的な表記を見ると、軽井沢や上高地、八ヶ岳、白馬など複数の地名が挙げられている。

ロングステイでは、依然として「ハワイ」が1位、「沖縄県」が2位となっているが、2019年と比べると「沖縄県」が増加し、両者の差は小さくなっている。

観光列車旅行では「九州地方」が最も多く、具体的にはななつ星が多く挙げられている。

花の名所巡りでは、「北海道」が2割以上を占めている。4位の「栃木県」以外は、古くからの日本庭園を有する「奈良県」「京都府」、チューリップが有名な「オランダ」と、2019年と異なる地域が挙げられている。

芸術鑑賞では、「東京都」が最も多く、次いで「フランス」「イタリア」「アメリカ合衆国本土」「オーストリア」と海外の旅行先が上位を占めている。

祭・イベントでは、ねぶた祭で知られる「青森県」が3割以上と最も多く、2019年に比べシェアを大きく伸ばしている。2位以降は祇園祭など伝統的な祭の多い「京都府」、竿燈まつりや花笠まつりなどがある「東北地方」などで回答が分散している。

海水浴では、「沖縄県」「ハワイ」の人気が高く、3位以下は伊豆を有する「静岡県」、「グアム」、白浜を有する「和歌山県」に回答が分散している。

自然現象観賞は、流氷で有名な「北海道」が1位となり、オーロラ鑑賞で有名な「カナダ」が続いている。

パワースポットでは、伊勢神宮の位置する「三重県」が最も多く、屋久島のある「鹿児島県」が続き、2019年と異なり上位5位は全て国内の旅行先が占めている。

2019年には調査項目になかった旅行タイプについて見ると、離島観光では、「沖縄県」が突出して多く5割を超え、小笠原諸島を有する「東京都」、屋久島や奄美大島を有する「鹿児島県」が続いた。

キャンプでは、高原リゾートでも上位に入った「長野県」「北海道」「山梨県」の順となった。

グランピングでは、館山がある「千葉県」が1位、富士河口湖がある「山梨県」、淡路島がある「兵庫県」が同率で2位となり、関東や関西の近郊が選ばれた。

表Ⅰ-4-4　旅行タイプ別行ってみたい旅行先（2022年・2019年）

温泉旅行

2022年（回答数：716）			2019年（回答数：742）		
1位	大分県	17.5%	1位	大分県	16.4%
2位	群馬県	16.5%	2位	群馬県	12.5%
3位	神奈川県	8.4%	3位	静岡県	7.3%
4位	静岡県	7.5%	4位	神奈川県	6.7%
5位	九州地方	5.3%	5位	九州地方	6.1%

海浜リゾート

2022年（回答数：452）			2019年（回答数：490）		
1位	ハワイ	40.5%	1位	ハワイ	38.0%
2位	沖縄県	35.2%	2位	沖縄県	33.1%
3位	グアム	4.9%	3位	グアム	5.1%
4位	静岡県	2.9%	4位	バリ	4.5%
5位	和歌山県	2.2%	5位	静岡県	2.9%

自然観光

2022年（回答数：693）			2019年（回答数：742）		
1位	北海道	27.0%	1位	北海道	22.4%
2位	沖縄県	11.1%	2位	沖縄県	8.0%
3位	ハワイ	6.1%	3位	ハワイ	7.0%
4位	鹿児島県	5.9%	4位	鹿児島県	5.4%
5位	オーストラリア	3.5%	5位	オーストラリア	4.7%

都市観光

2022年（回答数：390）			2019年（回答数：383）		
1位	東京都	29.2%	1位	東京都	25.6%
2位	大阪府	8.2%	2位	アメリカ合衆国本土	13.6%
3位	アメリカ合衆国本土	7.2%	3位	大阪府	7.6%
4位	イタリア	5.9%	4位	イタリア	6.0%
5位	京都府、フランス	5.1%	5位	京都府、シンガポール、フランス	3.7%

グルメ

2022年（回答数：593）			2019年（回答数：631）		
1位	北海道	42.0%	1位	北海道	40.7%
2位	韓国	5.6%	2位	韓国	6.7%
3位	福岡県	5.2%	3位	台湾	6.0%
4位	大阪府、台湾	4.0%	4位	福岡県	5.1%
			5位	イタリア	4.0%

世界遺産巡り

2022年（回答数：280）			2019年（回答数：311）		
1位	イタリア	11.1%	1位	イタリア	9.3%
2位	エジプト	8.6%	2位	フランス	8.0%
3位	スペイン	7.1%	3位	エジプト	7.4%
4位	フランス、ペルー	6.1%	4位	ペルー	5.1%
			5位	スペイン	4.8%

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表Ⅰ-4-4　旅行タイプ別行ってみたい旅行先（2022年・2019年）―つづき

歴史・文化観光

2022年（回答数：549）			2019年（回答数：625）		
1位	京都府	29.9%	1位	京都府	24.0%
2位	イタリア	8.2%	2位	イタリア	9.0%
3位	奈良県	5.3%	3位	奈良県	5.6%
4位	スペイン	4.9%	4位	沖縄県	4.2%
5位	沖縄県	4.0%	5位	フランス	3.8%

テーマパーク

2022年（回答数：469）			2019年（回答数：474）		
1位	千葉県	41.6%	1位	大阪府	38.2%
2位	大阪府	36.0%	2位	千葉県	36.5%
3位	東京都	6.8%	3位	東京都	8.4%
4位	長崎県	5.3%	4位	長崎県	5.9%
5位	アメリカ合衆国本土	4.5%	5位	アメリカ合衆国本土	5.1%

和風旅館

2022年（回答数：260）			2019年（回答数：253）		
1位	京都府	26.2%	1位	京都府	20.6%
2位	石川県	11.5%	2位	石川県	11.9%
3位	神奈川県	5.4%	3位	神奈川県	5.9%
4位	大分県	4.6%	4位	静岡県	4.7%
5位	静岡県	3.8%	5位	兵庫県	4.3%

おしゃべり旅行

2022年（回答数：250）			2019年（回答数：180）		
1位	沖縄県	7.6%	1位	北海道	6.7%
2位	北海道	6.4%	2位	神奈川県	6.1%
3位	静岡県	5.6%	3位	東京都	5.0%
4位	神奈川県、大阪府	4.4%	4位	静岡県	4.4%
			5位	千葉県	3.3%

ショッピング

2022年（回答数：247）			2019年（回答数：260）		
1位	ハワイ	28.7%	1位	ハワイ	30.0%
2位	東京都	19.0%	2位	韓国	15.8%
3位	韓国	15.8%	3位	東京都	11.9%
4位	フランス、イタリア、アメリカ合衆国本土	3.2%	4位	フランス	4.6%
			5位	イタリア	4.2%

リゾートホテル

2022年（回答数：235）			2019年（回答数：258）		
1位	沖縄県	28.5%	1位	沖縄県	26.0%
2位	ハワイ	14.5%	2位	ハワイ	20.9%
3位	長野県	6.8%	3位	北海道	6.6%
4位	北海道	4.7%	4位	バリ	5.8%
5位	バリ	3.0%	5位	シンガポール	3.9%

高原リゾート

2022年（回答数：204）			2019年（回答数：204）		
1位	長野県	50.5%	1位	長野県	48.5%
2位	北海道	6.4%	2位	栃木県、北海道	9.8%
3位	栃木県、山梨県	5.9%			
			4位	山梨県	6.9%
5位	スイス	4.9%	5位	スイス	3.4%

ロングステイ

2022年（回答数：193）			2019年（回答数：300）		
1位	ハワイ	17.6%	1位	ハワイ	27.3%
2位	沖縄県	15.5%	2位	沖縄県	8.0%
3位	オーストラリア、アメリカ合衆国本土	5.2%	3位	アメリカ合衆国本土	7.0%
			4位	北海道	6.3%
5位	北海道	4.7%	5位	オーストラリア	5.0%

町並み散策

2022年（回答数：266）			2019年（回答数：340）		
1位	京都府	21.8%	1位	京都府	17.1%
2位	イタリア	8.6%	2位	イタリア	7.9%
3位	石川県	7.9%	3位	石川県	7.6%
4位	フランス	6.8%	4位	岡山県	4.7%
5位	岐阜県	6.0%	5位	ヨーロッパ	4.4%

動物園・水族館

2022年（回答数：265）			2019年（回答数：262）		
1位	北海道	21.9%	1位	沖縄県	27.9%
2位	沖縄県	21.5%	2位	北海道	25.6%
3位	和歌山県	13.2%	3位	和歌山県	8.0%
4位	東京都	5.3%	4位	東京都	5.7%
5位	愛知県、大阪府	3.8%	5位	大阪府	5.0%

芸術鑑賞

2022年（回答数：175）			2019年（回答数：204）		
1位	東京都	21.7%	1位	東京都	20.6%
2位	フランス	14.9%	2位	フランス	15.2%
3位	イタリア、アメリカ合衆国本土	6.3%	3位	イタリア、アメリカ合衆国本土	8.3%
5位	オーストリア	5.7%	5位	オーストリア	7.8%

祭・イベント

2022年（回答数：170）			2019年（回答数：141）		
1位	青森県	32.9%	1位	青森県	18.4%
2位	京都府	7.6%	2位	秋田県、大阪府、京都府、東北地方	5.0%
3位	東北地方	5.3%			
4位	北海道	4.1%			
5位	岐阜県	3.5%			

海水浴

2022年（回答数：170）			2019年（回答数：211）		
1位	沖縄県	40.6%	1位	沖縄県	42.2%
2位	ハワイ	20.6%	2位	ハワイ	25.1%
3位	静岡県	5.9%	3位	グアム	6.6%
4位	グアム	5.3%	4位	静岡県	5.7%
5位	和歌山県	4.1%	5位	和歌山県	4.3%

自然現象観賞

2022年（回答数：157）			2019年（回答数：178）		
1位	北海道	13.4%	1位	カナダ	11.8%
2位	カナダ	12.1%	2位	北海道	10.1%
3位	沖縄県	7.6%	3位	フィンランド	7.9%
4位	フィンランド	6.4%	4位	ハワイ	4.5%
5位	オーストラリア	5.7%	5位	アラスカ、オーストラリア	3.4%

パワースポット

2022年（回答数：139）			2019年（回答数：212）		
1位	三重県	15.1%	1位	ハワイ	11.8%
2位	鹿児島県	7.2%	2位	三重県	10.8%
3位	島根県、宮崎県	6.5%	3位	鹿児島県	6.6%
			4位	アメリカ合衆国本土	5.7%
5位	和歌山県	5.8%	5位	オーストラリア、島根県	5.2%

登山・山歩き

2022年（回答数：137）			2019年（回答数：168）		
1位	長野県	24.8%	1位	静岡県	29.2%
2位	山梨県、静岡県	13.9%	2位	山梨県	28.0%
			3位	長野県	19.6%
4位	スイス	9.5%	4位	鹿児島県	7.1%
5位	鹿児島県	8.0%	5位	岐阜県、スイス	6.0%

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表Ⅰ-4-4　旅行タイプ別行ってみたい旅行先（2022年・2019年）―つづき

観光列車旅行

2022年（回答数：193）			2019年（回答数：226）		
1位	九州地方	31.1%	1位	九州地方	37.2%
2位	東北地方	3.6%	2位	北海道	9.3%
3位	北海道、大分県、スイス	3.1%	3位	東北地方	4.0%
			4位	静岡県	3.5%
			5位	熊本県、中国地方	2.7%

花の名所巡り

2022年（回答数：186）			2019年（回答数：191）		
1位	北海道	21.0%	1位	北海道	20.4%
2位	奈良県	6.5%	2位	青森県	9.4%
3位	京都府	5.4%	3位	長崎県	7.3%
4位	栃木県、オランダ	4.3%	4位	茨城県、栃木県、福島県	3.1%

ホテルステイ

2022年（回答数：121）			2019年（回答数：131）		
1位	東京都	14.0%	1位	ハワイ	14.5%
2位	ハワイ	12.4%	2位	北海道、東京都	6.9%
3位	沖縄県	10.7%			
4位	アメリカ合衆国本土	5.8%	4位	アメリカ合衆国本土、沖縄県、長野県	4.6%
5位	モルディブ、大分県、千葉県	3.3%			

秘境ツアー

2022年（回答数：118）			2019年（回答数：137）		
1位	鹿児島県	8.5%	1位	カナダ	11.8%
2位	北海道	6.8%	2位	北海道	10.1%
3位	宮崎県	5.9%	3位	フィンランド	7.9%
4位	カナダ	4.2%	4位	ハワイ	4.5%
5位	ペルー、長崎県	3.4%	5位	アラスカ、オーストラリア	3.4%

スポーツ観戦

2022年（回答数：108）			2019年（回答数：159）		
1位	アメリカ合衆国本土	20.4%	1位	東京都	22.6%
2位	東京都	13.0%	2位	アメリカ合衆国本土	21.4%
3位	大阪府、英国	6.5%	3位	スペイン	10.1%
			4位	イタリア	5.0%
5位	スペイン	5.6%	5位	英国、兵庫県	3.8%

武将観光

2022年（回答数：89）			2019年（回答数：92）		
1位	京都府	10.1%	1位	長野県	13.0%
2位	山梨県	7.9%	2位	山梨県	6.5%
3位	長野県、神奈川県	6.7%	3位	愛知県、兵庫県	5.4%
5位	愛知県、宮城県、滋賀県	5.6%	5位	石川県、岐阜県、京都府、宮城県	4.3%

マリンスポーツ

2022年（回答数：135）			2019年（回答数：180）		
1位	沖縄県	61.5%	1位	沖縄県	42.2%
2位	ハワイ	17.8%	2位	ハワイ	28.3%
3位	グアム	8.1%	3位	グアム	7.8%
4位	東京都	3.7%	4位	オーストラリア、東京都	3.9%
5位	モルディブ	3.0%			

スキー・スノーボード

2022年（回答数：130）			2019年（回答数：139）		
1位	北海道	41.5%	1位	北海道	51.8%
2位	長野県	27.7%	2位	長野県	15.8%
3位	新潟県	8.5%	3位	新潟県	10.8%
4位	群馬県	3.8%	4位	群馬県	3.6%
5位	山形県	3.1%	5位	宮城県、山形県	2.9%

エコツアー

2022年（回答数：47）			2019年（回答数：68）		
1位	北海道	14.9%	1位	北海道	14.7%
2位	沖縄県	10.6%	2位	オーストラリア、沖縄県	5.9%
3位	鹿児島県	8.5%			
4位	岐阜県、カナダ	6.4%	4位	東京都、長野県	4.4%

産業観光

2022年（回答数：28）			2019年（回答数：60）		
1位	群馬県、大阪府、九州地方	7.1%	1位	愛知県	6.7%
			2位	東京都、群馬県、新潟県	5.0%
4位	埼玉県、奈良県、山口県、北海道、ベトナム、香川県、岡山県、福岡県、神奈川県、国内	3.6%	5位	北海道、神奈川県、京都府、三重県、福岡県、イタリア	3.3%

環境にやさしい旅行

2022年（回答数：17）			2019年（回答数：22）		
1位	東北地方、四国地方、沖縄県、東京都、島根県、北海道、ニュージーランド、ハワイ、カナダ、ヨーロッパ、スイス	5.9%	1位	北海道	18.2%
			2位	四国地方	9.1%
			3位	東京都、群馬県、熊本県、沖縄県、石川県、ヨーロッパ、北欧、ハワイ、スイス	4.5%

離島観光

2022年（回答数：280）		
1位	沖縄県	52.1%
2位	東京都	7.9%
3位	鹿児島県	7.1%

キャンプ

2022年（回答数：139）		
1位	長野県	16.5%
2位	北海道	8.6%
3位	山梨県	7.9%

グランピング

2022年（回答数：104）		
1位	千葉県	12.5%
2位	山梨県、兵庫県	9.6%

聖地巡礼

2022年（回答数：90）		
1位	韓国	17.8%
2位	神奈川県、東京都	5.6%

フォトスポット巡り

2022年（回答数：52）		
1位	沖縄県、アメリカ合衆国本土、韓国	9.6%

グリーンツーリズム

2022年（回答数：20）		
1位	和歌山県	10.0%
2位	四国地方、岩手県、宮崎県など	5.0%

ワーケーション

2022年（回答数：89）		
1位	沖縄県	28.6%
2位	神奈川県	14.3%
3位	和歌山県、長野県、静岡県、北海道、大分県、鹿児島県など	7.1%

資料：（公財）日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

2 旅行の動機

旅行の動機は、「日常生活からの解放」「おいしいもの」

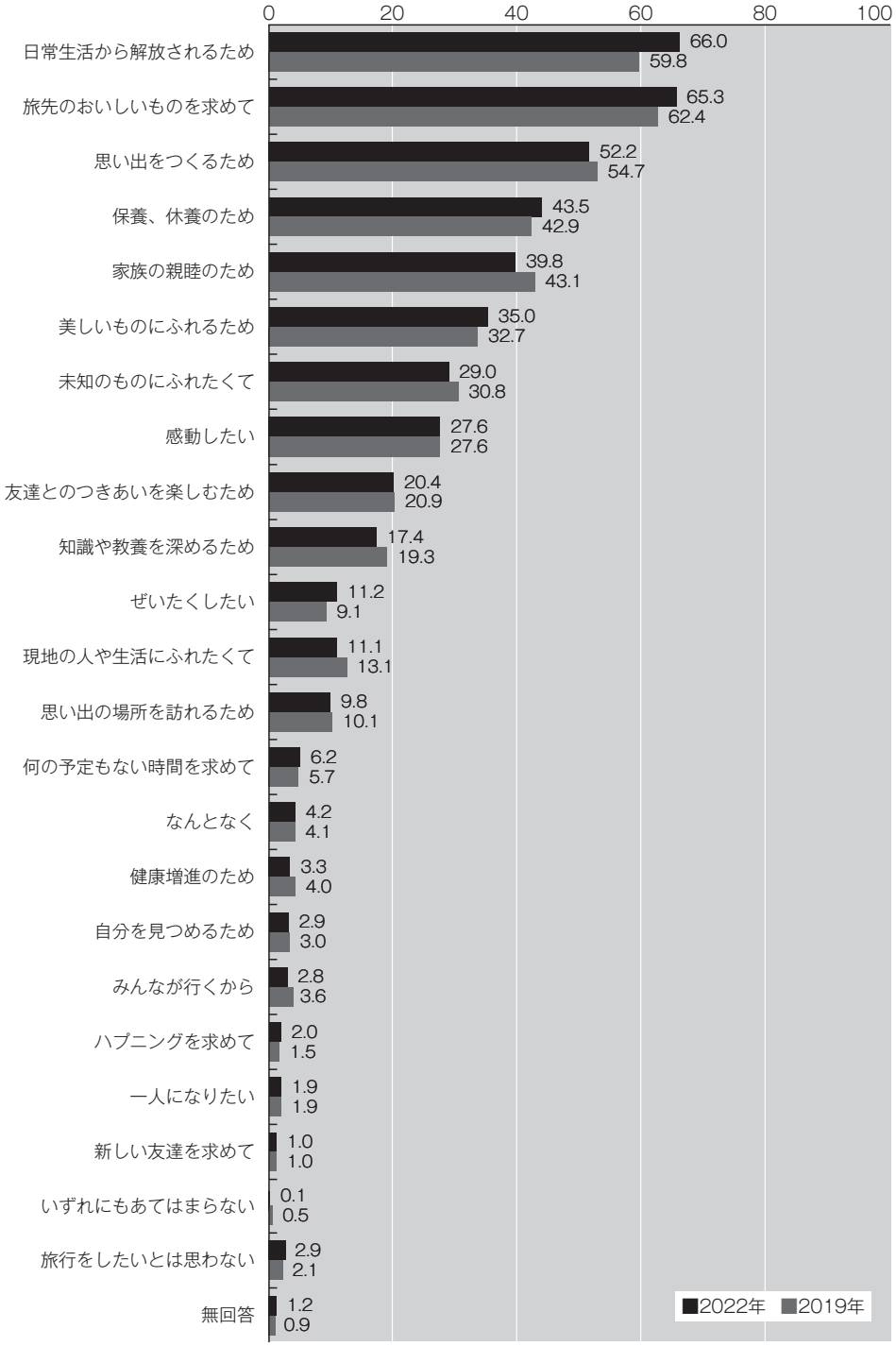
「国内宿泊旅行、海外宿泊旅行をしてみたいと思う動機」として当てはまるものを、あらかじめ用意した選択肢から選んでもらった結果、旅行動機（複数回答）については、「日常生活から解放されるため」が66.0%と最も多く、続いて「旅先のおいしいものを求めて」65.3%、「思い出をつくるため」52.2%、「保養、休養のため」が43.5%となった（図I-4-2）。2019年と比較すると、「日常生活から解放されるため」「旅先のおいしいものを求めて」「保養、休養のため」は増加した一方で、「思い出をつくるため」「家族の親睦のため」は減少した。

先に述べた上位3つの動機について、性・年代別に詳しく見ると、「日常生活から解放されるため」「旅先のおいしいものを求めて」については、ほとんどの年代において上位3位に入っている（表I-4-5）。また、「思い出をつくるため」は、20～40代と比較的若い世代での主な動機となっている。

2019年と比較すると、男性40代、女性50代、男女60～70代において「日常生活から解放されるため」の選択率が大きく増加した。

図Ⅰ-4-2　旅行の動機（複数回答）

（単位：%）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表Ⅰ-4-5　性・年代別　旅行の動機（複数回答）

（単位：%）

男性20代

		2022年	2019年	
1位	思い出をつくるため	64.0	61.8	（1位）
2位	日常生活から解放されるため	61.6	53.9	（3位）
3位	旅先のおいしいものを求めて	52.3	54.9	（2位）
4位	友達とのつきあいを楽しむため	45.3	37.3	（5位）
5位	保養、休養のため	30.2	42.2	（4位）
6位	未知のものにふれたくて	24.4	37.3	（5位）
7位	美しいものにふれるため	22.1	27.5	（7位）
8位	感動したい	17.4	25.5	（8位）
9位	家族の親睦のため	15.1	21.6	（9位）
10位	知識や教養を深めるため	11.6	19.6	（10位）

男性30代

		2022年	2019年	
1位	思い出をつくるため	58.2	62.2	（2位）
	旅先のおいしいものを求めて	58.2	63.0	（1位）
3位	日常生活から解放されるため	57.1	60.6	（3位）
4位	家族の親睦のため	43.9	46.5	（4位）
5位	保養、休養のため	37.8	42.5	（5位）
6位	未知のものにふれたくて	29.6	32.3	（6位）
7位	美しいものにふれるため	20.4	26.8	（7位）
8位	感動したい	16.3	17.3	（9位）
	ぜいたくしたい	16.3	10.2	（12位）
10位	知識や教養を深めるため	12.2	19.7	（8位）
	思い出の場所を訪れるため	12.2	8.7	（13位）

男性40代

		2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	71.9	57.9	（1位）
2位	思い出をつくるため	60.3	55.9	（4位）
3位	旅先のおいしいものを求めて	58.9	57.9	（1位）
4位	家族の親睦のため	54.8	56.6	（3位）
5位	保養、休養のため	43.8	48.7	（5位）
6位	未知のものにふれたくて	30.1	30.3	（6位）
7位	美しいものにふれるため	20.5	25.7	（7位）
	感動したい	20.5	20.4	（9位）
9位	知識や教養を深めるため	17.1	21.1	（8位）
10位	ぜいたくしたい	12.3	9.2	（11位）

男性50代

		2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	66.7	59.2	（2位）
2位	日常生活から解放されるため	62.7	64.6	（1位）
3位	保養、休養のため	49.2	45.4	（4位）
4位	家族の親睦のため	46.8	50.8	（3位）
5位	思い出をつくるため	46.0	43.1	（5位）
6位	未知のものにふれたくて	34.1	23.8	（7位）
7位	美しいものにふれるため	31.0	25.4	（6位）
8位	感動したい	27.8	21.5	（8位）
9位	知識や教養を深めるため	23.8	15.4	（9位）
10位	現地の人や生活にふれたくて	11.9	9.2	（12位）
	何の予定もない時間を求めて	11.9	9.2	（12位）

男性60代

		2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	64.4	44.4	（2位）
2位	旅先のおいしいものを求めて	62.7	60.3	（1位）
3位	思い出をつくるため	51.7	42.1	（4位）
4位	家族の親睦のため	44.9	38.9	（5位）
5位	保養、休養のため	44.1	43.7	（3位）
6位	美しいものにふれるため	36.4	31.0	（6位）
7位	未知のものにふれたくて	25.4	28.6	（7位）
8位	感動したい	24.6	27.8	（8位）
9位	知識や教養を深めるため	17.8	19.8	（9位）
10位	友達とのつきあいを楽しむため	16.9	10.3	（12位）

男性70代

		2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	56.2	52.6	（1位）
2位	日常生活から解放されるため	52.3	37.1	（4位）
3位	保養、休養のため	38.5	38.1	（3位）
4位	美しいものにふれるため	35.4	28.9	（7位）
5位	家族の親睦のため	34.6	45.4	（2位）
6位	思い出をつくるため	30.0	33.0	（6位）
	未知のものにふれたくて	30.0	34.0	（5位）
8位	感動したい	29.2	24.7	（8位）
9位	知識や教養を深めるため	21.5	15.5	（12位）
10位	友達とのつきあいを楽しむため	19.2	24.7	（8位）

女性20代

		2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	71.6	68.3	（2位）
2位	日常生活から解放されるため	68.2	68.3	（2位）
3位	思い出をつくるため	65.9	79.2	（1位）
4位	保養、休養のため	40.9	45.5	（4位）
	美しいものにふれるため	40.9	29.7	（6位）
6位	友達とのつきあいを楽しむため	35.2	29.7	（6位）
7位	家族の親睦のため	29.5	27.7	（8位）
8位	感動したい	28.4	25.7	（9位）
9位	ぜいたくしたい	25.0	23.8	（10位）
10位	未知のものにふれたくて	22.7	32.7	（5位）

女性30代

		2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	77.3	77.5	（2位）
2位	思い出をつくるため	76.3	83.3	（1位）
3位	日常生活から解放されるため	75.3	77.5	（2位）
4位	家族の親睦のため	56.7	65.0	（4位）
5位	保養、休養のため	48.5	49.2	（5位）
6位	美しいものにふれるため	35.1	36.7	（6位）
7位	未知のものにふれたくて	23.7	34.2	（7位）
8位	感動したい	22.7	34.2	（7位）
	ぜいたくしたい	22.7	15.8	（10位）
10位	友達とのつきあいを楽しむため	20.6	13.3	（12位）

女性40代

		2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	74.2	70.6	（1位）
2位	旅先のおいしいものを求めて	67.7	67.1	（2位）
3位	思い出をつくるため	62.1	62.9	（3位）
4位	家族の親睦のため	56.5	49.7	（4位）
5位	保養、休養のため	46.0	41.3	（5位）
6位	美しいものにふれるため	37.1	32.2	（6位）
	未知のものにふれたくて	37.1	23.8	（7位）
8位	感動したい	33.9	23.8	（7位）
9位	知識や教養を深めるため	21.8	16.8	（9位）
10位	友達とのつきあいを楽しむため	16.9	13.3	（10位）

女性50代

		2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	80.9	73.3	（1位）
2位	旅先のおいしいものを求めて	76.5	72.3	（2位）
3位	保養、休養のため	54.8	52.5	（4位）
4位	思い出をつくるため	42.6	55.4	（3位）
5位	美しいものにふれるため	35.7	45.5	（6位）
6位	感動したい	31.3	33.7	（8位）
7位	家族の親睦のため	29.6	47.5	（5位）
8位	未知のものにふれたくて	25.2	40.6	（7位）
9位	知識や教養を深めるため	15.7	27.7	（9位）
	友達とのつきあいを楽しむため	15.7	15.8	（11位）

女性60代

		2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	71.0	68.8	（1位）
2位	日常生活から解放されるため	70.2	60.9	（2位）
3位	保養、休養のため	50.0	43.0	（3位）
4位	美しいものにふれるため	49.2	38.3	（6位）
5位	思い出をつくるため	46.8	36.7	（7位）
6位	感動したい	41.1	39.8	（4位）
7位	未知のものにふれたくて	32.3	30.5	（8位）
8位	家族の親睦のため	30.6	39.1	（5位）
9位	友達とのつきあいを楽しむため	26.6	29.7	（9位）
10位	知識や教養を深めるため	23.4	18.8	（10位）

女性70代

		2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	67.4	54.5	（1位）
2位	日常生活から解放されるため	57.4	49.2	（3位）
3位	美しいものにふれるため	53.9	50.8	（2位）
4位	保養、休養のため	38.3	31.8	（7位）
5位	思い出をつくるため	36.2	40.2	（4位）
6位	感動したい	34.8	38.6	（5位）
7位	家族の親睦のため	30.5	30.3	（8位）
8位	未知のものにふれたくて	29.1	28.8	（9位）
9位	友達とのつきあいを楽しむため	27.0	37.9	（6位）
10位	知識や教養を深めるため	14.9	25.8	（10位）

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

3 旅行の阻害要因

最大の阻害要因は「新型コロナウイルス感染症の流行」

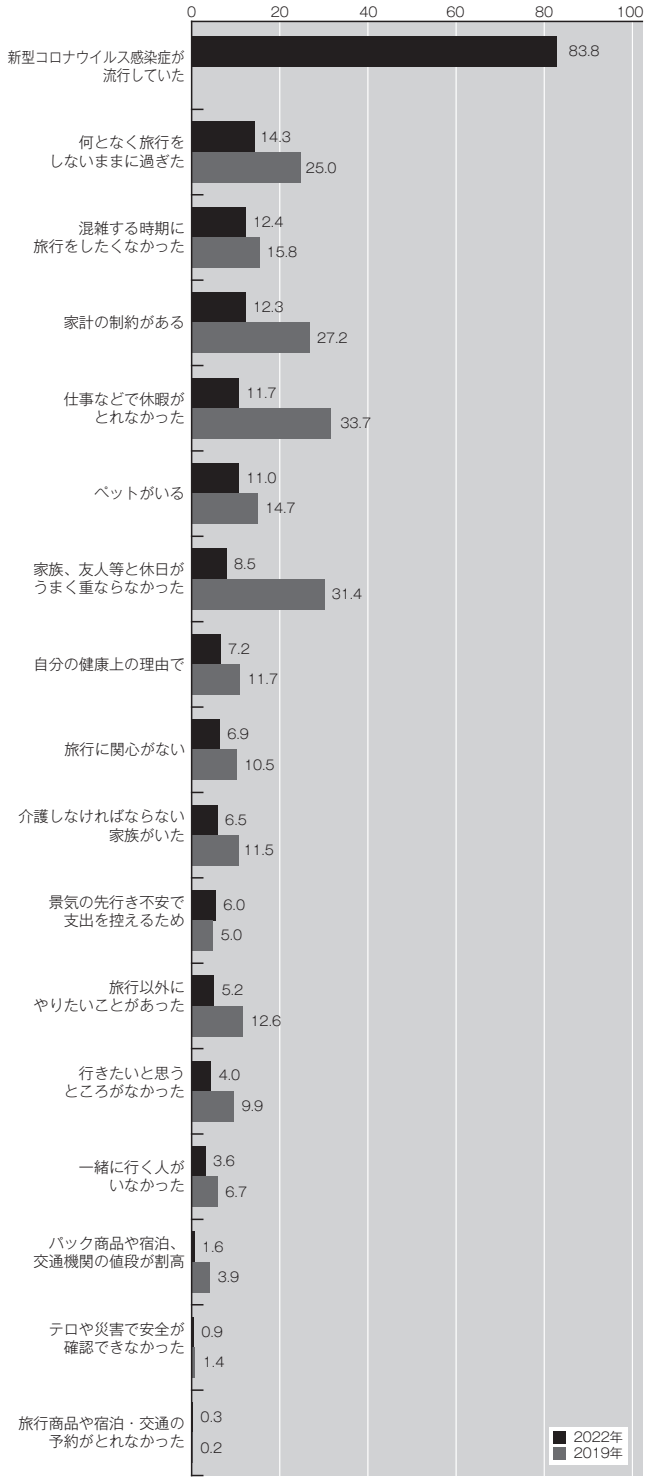
「2021年1～12月中に国内旅行または海外旅行に行かなかった人」に「行かなかった」理由として当てはまるものをあらかじめ用意した選択肢から全て選んでもらった。

その結果、旅行の阻害要因（複数回答）は、「新型コロナウイルス感染症が流行していた」が、昨年に引き続き突出して多く83.8%にのぼった（2021年：90.0%）。続いて、「何となく旅行をしないままに過ぎた」（14.3%）、「混雑する時期に旅行をしたくなかった」（12.4%）、「家計の制約がある」（12.3%）、「仕事などで休暇がとれなかった」（11.7%）の順となった（図I-4-3）。

また、いずれのライフステージにおいても「新型コロナウイルス感染症が流行していた」が最大の阻害要因であり、特に、男女共に子育て中と子育て後で8割を超えた。新型コロナウイルス感染症の流行以外の要因を見ると、未婚や子育て後では「何となく旅行をしないままに過ぎた」、子どもなしや子育て中では「家計の制約がある」が挙げられた（表I-4-6）。

（安原有紗）

図Ⅰ-4-3　旅行の阻害要因（複数回答）　（単位：%）



資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表Ⅰ-4-6　ライフステージ別・旅行の阻害要因　（単位：%）

男女・未婚

2022年			2019年		
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	78.1	1位	仕事などで休暇がとれなかった	41.0
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	17.9	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	28.2
3位	旅行に関心がない	15.2	3位	家族、友人等と休日が重ならなかった	27.4

男女・子どもなし

2022年			2019年		
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	74.4	1位	仕事などで休暇がとれなかった	61.5
2位	ペットがいる	20.5	2位	家計の制約がある	42.3
	家計の制約がある	20.5	3位	ペットがいる	38.5

男性子育て中

2022年			2019年		
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	85.2	1位	仕事などで休暇がとれなかった	37.3
2位	仕事などで休暇がとれなかった	18.0	2位	家族、友人等と休日が重ならなかった	36.6
3位	家計の制約がある	15.3	3位	家計の制約がある	31.3

男性子育て後

2022年			2019年		
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	85.0	1位	仕事などで休暇がとれなかった	34.4
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	16.7	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	26.2
3位	自分の健康上の理由で	15.0	3位	家計の制約がある	23.0

女性子育て中

2022年			2019年		
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	86.5	1位	家族、友人等と休日が重ならなかった	45.7
2位	家計の制約がある	16.7	2位	家計の制約がある	32.9
3位	混雑する時期に旅行をしたくなかった	14.0	3位	仕事などで休暇がとれなかった	27.9

女性子育て後

2022年			2019年		
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	85.8	1位	自分の健康上の理由で	31.9
2位	混雑する時期に旅行をしたくなかった	20.0	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	30.6
3位	何となく旅行をしないままに過ぎた	18.7	3位	介護しなければならない家族がいた	23.6

資料：（公財）日本交通公社「JTBF旅行意識調査」